

高規格救急自動車の取得について

【令和5年5月25日 記者会見資料】

1 事業概要

本市では、近年、救急出動件数の増加とあいまって、管轄以外の消防署から出動する事案が増え、今後、高齢化が進む間はこの傾向が続くことが予想されます。

このことにより、現場到着時間の遅れや、救急活動時間の延伸が生じ、救命率の低下に繋がるのが危惧されます。

これらの問題を少しでも解決し、増加する救急事案に対応するため、令和5年度中に高規格救急自動車を1台増台し、救急体制の強化が図れるよう、本議会に上程させていただきました。

2 配備場所

小牧市消防署 東支署

3 東支署に配備する理由

増台する高規格救急自動車は、本市の東部に位置する東支署に配備します。

第8次小牧市高齢者保健福祉計画によりますと、篠岡圏域の65歳以上の高齢者数及び高齢化率の推計値は、市内の他圏域と比較して最も高くなっており、救急件数も比例して増加することが予想されます。また、篠岡圏域を管轄する東支署管内で救急要請が重複した場合は、管轄以外の消防署から応援出動しますが、本市の地形は東西に長いことから、東支署の高規格救急自動車を2台体制にすることで、現場到着時間が短縮し、市民サービスの向上につながると考えられるためです。

4 消防署(本署)、支署の位置関係

